

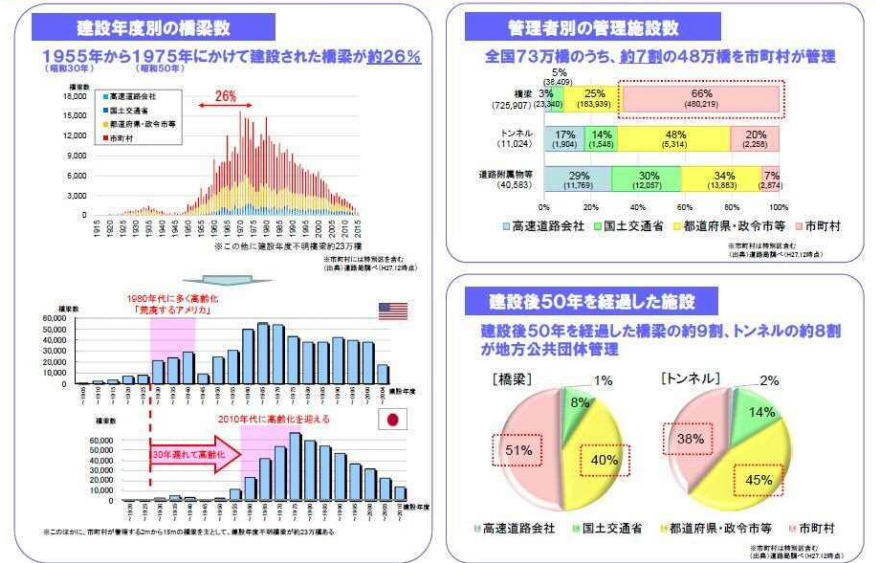
# 道路メンテナンスの現状と取組みについて

国土交通省 四国地方整備局  
道路部 道路保全企画官 原田 康

平成29年1月6日

## 道路メンテナンスについて

### 道路ストックと老朽化を取り巻く現状



【出典：社会資本整備審議会 道路分科会 第57回基本政策部会】 1

## 道路メンテナンスについて

### これまでの取り組み状況

**「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」**  
H26.4.14 国土資本整備審議会道路分科会提言

**メンテナンスサイクルを確定（道路管理者の義務の明確化）**  
○各道路管理者の責任で以下のメンテナンスサイクルを実施

**メンテナンスサイクルを回す仕組みを構築**  
○メンテナンスサイクルを持続的に回す以下の仕組みを構築

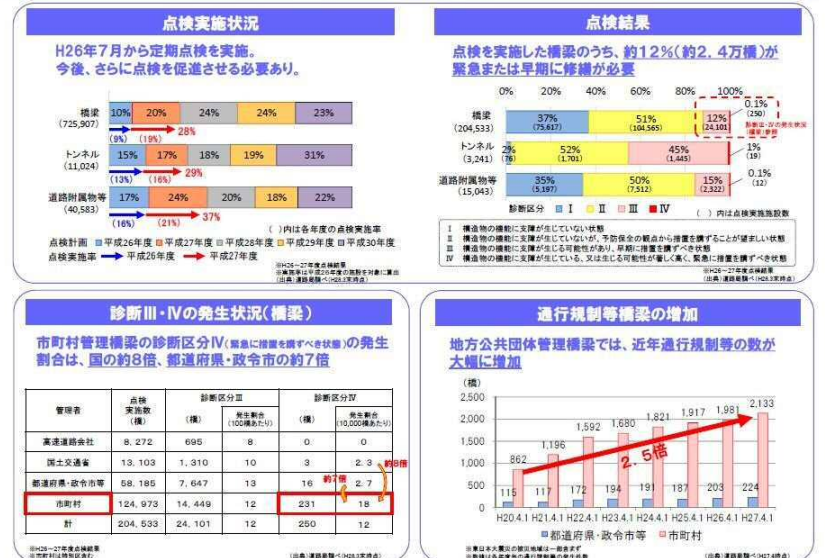
**提言の実行状況（主な項目）**

- 大規模修繕・更新に対する補助制度**  
-H27年度に創設  
-H28年度は59箇所を実施
- 道路メンテナンス会議・国民の理解と協働**  
-全ての都道府県に設置（H26年度）  
-国民の理解と協働に向け道路メンテナンス年報を公表
- 直轄診断・国による修繕代行制度**  
-H26・27年度で直轄診断を6箇所を実施  
-修繕代行はこれまでに5箇所を実施
- 技術開発を推進**  
-非破壊検査等の点検・補修技術等について、現場への導入を検討
- 直轄診断・国による修繕代行制度**  
-H26・27年度で約2,400名受講  
-うち地方公共団体職員は約1,900名受講
- 技術開発を推進**  
-非破壊検査等の点検・補修技術等について、現場への導入を検討
- 過積載等の違反者への取締り・指導の強化**  
-悪質な違反者は即告発（レッドカード）を実施

【出典：社会資本整備審議会 道路分科会 第57回基本政策部会】 2

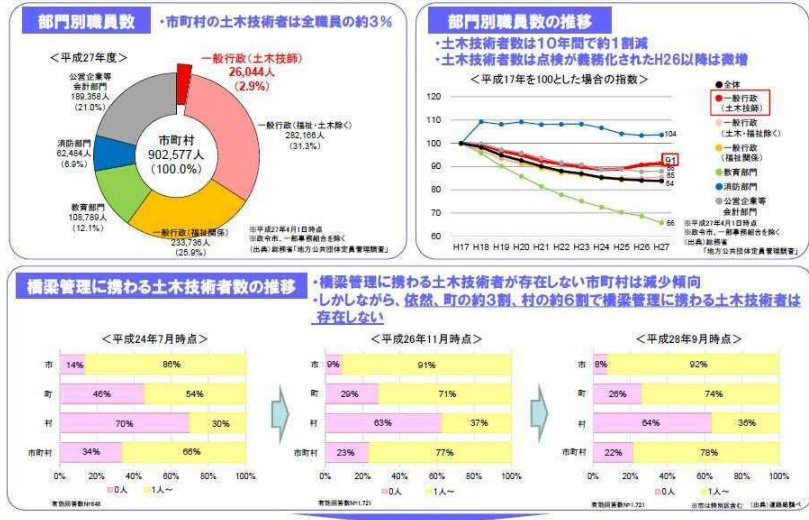
## 道路メンテナンスについて

### 全国統一の基準に基づく点検結果と見えてきた課題



【出典：社会資本整備審議会 道路分科会 第57回基本政策部会】 3

市町村の体制の現状と課題



老朽化対策の着実な実行に必要な体制の強化が必要

【出典：社会資本整備審議会 道路分科会 第57回基本政策部会】 4

道路メンテナンス会議

四国四県の関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、各県において平成26年5月～7月に設置。

体制

- 国土交通省四国地方整備局 道路部、各国道事務所、四国技術事務所
- 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 各県内市町村
- 西日本高速道路株式会社
- 本州四国連絡高速道路株式会社

役割

1. 研修・基準類の説明会等の調整
2. 点検・修繕において優先順位等の考え方に該当する路線の選定・確認
3. 点検・措置状況の集約・評価・公表
4. 点検業務の発注支援（地域一括発注等）
5. 技術的な相談対応 等

開催状況

- ・H26、27年度は3回/年開催
- ・H28は5月（第1回）、7月（第2回）を開催

□H28 第1回の議事要旨

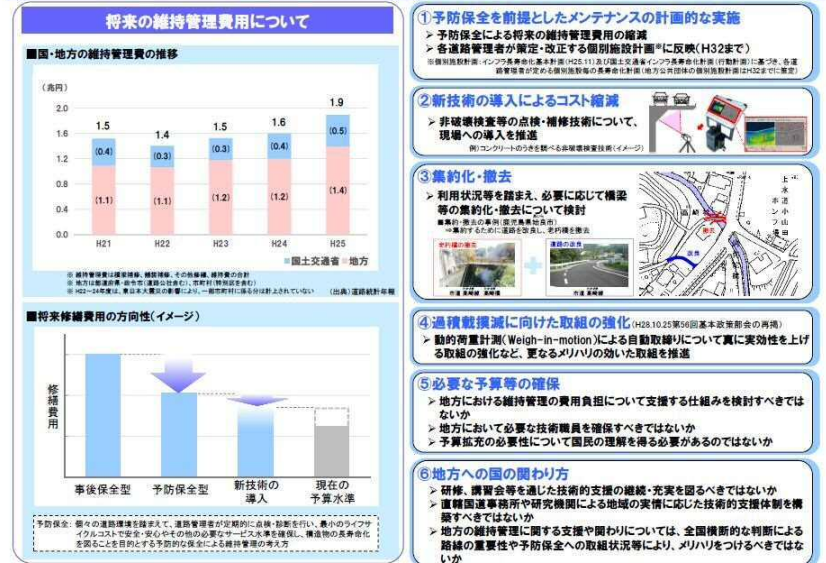
- 1) H27までの点検結果及びH28以降の点検計画について
- 2) 跨線橋の点検状況について
- 3) H27点検における診断区分IV施設及び措置状況について
- 4) H28における一括発注の予定について 等

□H28 第2回議事要旨

- 1) 平成27年度までの点検結果について（点検実施状況、判定結果 等）
- 2) 平成28年度以降の点検計画について（点検計画、一括発注、研修 等）



老朽化対策を確実に進めるための方策



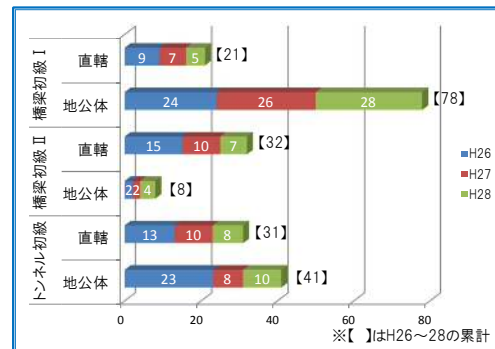
【出典：社会資本整備審議会 道路分科会 第57回基本政策部会】 5

地方自治体職員等を対象とした研修の実施（1）

自治体職員の技術力向上を目的とした技術支援

- ・ 四国地方整備局主催の道路構造物管理実務者研修において、自治体職員を聴講生として受け入れ
- ・ 道路メンテナンス会議において、自治体職員を対象とした「橋梁マネジメント現場支援セミナー」を開催

□橋梁初級Ⅰ・Ⅱ、トンネル初級研修の年度別受講者の累計（H26～28）

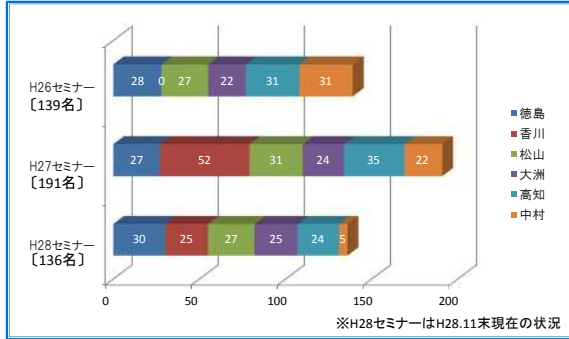


## 地方自治体職員等を対象とした研修の実施（2）

### 【セミナーの概要】

- ・セミナーは座学と現場実習の2部構成（講師は直轄職員が担当）
- ・座学では橋梁等点検要領の説明のほか、各自治体での取組事例や点検結果の報告を行い、参加者との意見交換を実施
- ・参加者自らが参加することでスキルアップを図る。

□各地区におけるセミナーの地公体職員受講者の累計



### 【参加者の声】

- ・コンサルタント等の点検・診断結果を確認しチェックできるようになりました
- ・点検・診断の実施内容が理解でき、今までの技術力からレベルアップしました等



8

## 大渡ダム大橋 橋梁修繕研修会（主催：高知県メンテナンス会議） 国土交通省

平成26年度全国初の直轄診断を行い、平成27年度に全国で2例※の修繕代行事業として新規事業化された「大渡ダム大橋」において、メインケーブルの開放調査など「吊り橋」に特化した橋梁修繕研修会を実施 ※三島大橋（福島県三島町）

日時 平成28年1月21日（木） 13:30～16:00  
 場所 大渡ダム大橋（現場見学）  
 秋葉の宿仁淀川町観光センター 大ホール（座学）  
 講師 国土交通省 国土技術政策総合研究所  
 道路構造部 橋梁研究室長 玉越 隆史  
 受講者 四国内市町村職員、高知県職員など 約70人



9

## 自治体職員を対象に「橋梁健全性診断WS」 国土交通省

自治体職員の技術力向上のために、職員が近接目視点検・診断を行い、愛媛大学大学院理工学研究科の森伸一郎准教授と全邦釘助教をファシリテーターとして、維持管理にかかる課題について意見交換を行う「橋梁健全性診断WS」を開催

日時 平成28年1月21日（木） 11:00～16:30  
 場所 四国中央市消防防災センター3階大会議室  
 現地調査 平和橋、静進橋（四国中央市管理）  
 講師 愛媛大学大学院理工学研究科 准教授 森 伸一郎  
 参加者 自治体等の実務担当者、社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）認定者 約30名



10

## 地元高校生等を対象とした工事見学会の実施

・将来のメンテナンスを担う工業高校の生徒を対象とした「橋梁修繕研修会」を実施し、人材育成に取り組んでいる。  
 ・また、橋梁補修工事の近隣小学生を対象とした「現場見学会」を開催し、老朽化対策工事への理解を深めてもらう取り組みも積極的に行っている。

### 高校生を対象とした「橋梁修繕研修会」の実施

- 日時 平成28年11月21日 9:30～12:00
- 場所 森松高架橋（国道33号）他
- 参加者 松山工業高校 土木科1年生 40名
- 内容 橋梁の定期点検体験や新設橋梁の現場見学



- 日時 平成28年12月12日 8:30～15:30
- 場所 現地研修：脇川橋（国道56号）  
座学：八幡浜工業高校 教室
- 参加者 八幡浜工業高校 土木科1年生 40名
- 内容 既設橋梁の補修、維持管理に関する座学と現場見学



### 小学生を対象に「現場見学会」を開催

- 日時 平成27年7月14日 14:00～15:20
- 場所 横河原高架橋（国道11号）
- 参加者 北吉井小学校 4年生 81名
- 内容 補修工事の概要説明、簡単な現場作業体験等



11

# インフラメンテナンス国民会議(平成28年11月28日設立)

## 設立の背景

- インフラは豊かな国民生活、社会経済を支える基盤であり、急速にインフラ老朽化が進む中で施設管理者は限られた予算の中で対応しなければならず、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保することが喫緊の課題
- 豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要であることから、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムの転換が必要

## 目的

1. 革新的技術の発掘と社会実装
2. 企業等の連携の促進
3. インフラメンテナンスの理念の普及
4. インフラメンテナンスへの市民参画の推進

## 国民会議の性格

産官学民が連携するプラットフォーム



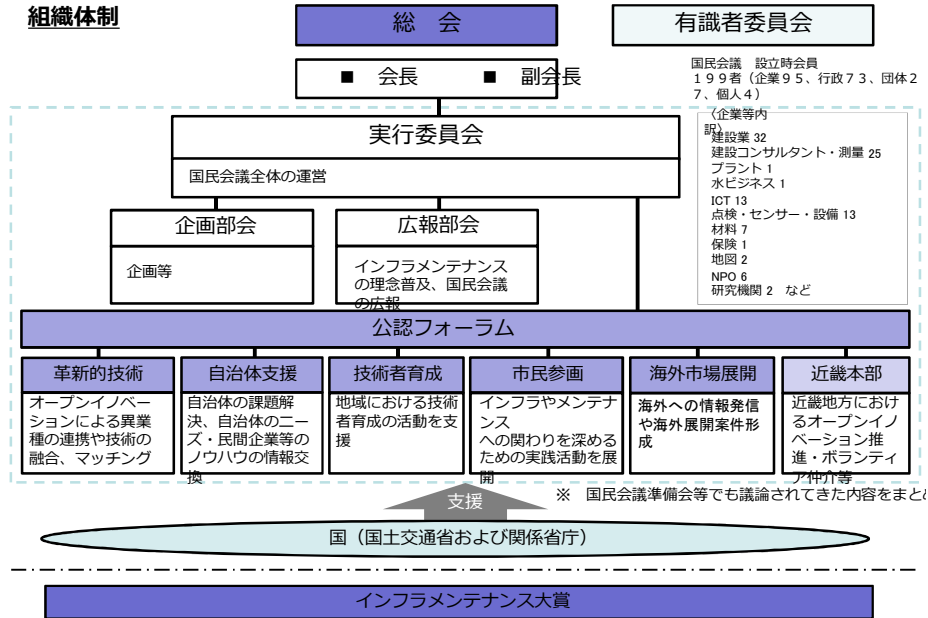
## 設立の位置付け

- 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 提言(平成27年2月)「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」
- 日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命- (平成27年6月30日閣議決定)
- 日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて- (平成28年6月2日閣議決定)
- 政務官勉強会 提言(平成28年7月29日)

## 準備状況

- 意見交換会(平成27年11月~12月、平成28年4月) 2回
- 部会・フォーラム準備会(平成28年6月2日~9月29日) 延べ11回

# インフラメンテナンス国民会議の主な活動



# 確実かつ効率的なインフラメンテナンスの推進

